学校番号	１０６

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史Ａ　（東京書籍）						
副教材等	アカデミア世界史（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の歴史という「時間の流れ」の中で、様々な事象に「なぜ」の視点を持つ。
・世界と日本のつながりを重視し、歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・現代社会の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け考察できるようにする。
・世界の歴史の流れを、地理的条件や日本史と関連付けながら理解し、国際社会に生きる日本国民としての自覚を養う。
・資料を活用し、視覚的・聴覚的に入ってきた知識を活用し、グローバルな思考力を培う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ノート・プリント	定期考査 ノート・プリント	定期考査 ノート・プリント	定期考査
	〔主題学習〕 プリント	〔主題学習〕 課題研究レポート 課題研究への取り組み 研究発表の内容	〔主題学習〕 プリント	〔主題学習〕 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界の一体化の始まり・近世から近代欧米世界の発展	・世界の諸文明 ・アジア諸国の繁栄と衰退 ・近世ヨーロッパ世界の形成と展開 ・欧米における近代国民国家の発展	○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○ ○	a:世界の諸文明とヨーロッパ世界の拡大、アジアの諸帝国の繁栄と衰退、近代ヨーロッパの新たな社会の成立、ヨーロッパの進出による世界の変貌に対する関心などを高め、意欲的に追究しようとしている。 b:世界の諸文明とヨーロッパ世界の拡大、アジアの諸帝国の繁栄と衰退、近代ヨーロッパの新たな社会の成立、ヨーロッパの進出による世界の変貌とその特質を見いだして、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:世界の諸文明とヨーロッパ世界の拡大、アジアの諸帝国の繁栄と衰退、近代ヨーロッパの新たな社会の成立、ヨーロッパの進出による世界の変貌を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
	近代後期の世界・欧米の世界進出	・アジア諸地域の動揺 ・アヘン戦争と列強の中国進出 ・第二次産業革命 ・帝国主義の成立	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ 	a:近代後期以降の欧米諸国の進出によるアジアの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:近代後期以降の欧米諸国の進出によってアジア諸国にもたらされた影響や様相を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:近代後期以降の欧米諸国の進出に伴う諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:近代後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄と欧米諸国の発展を関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント

2学期	現代の始まりと帝国主義／第一次世界大戦とヴェルサイユ体制	・ヨーロッパ各国の帝国主義 ・世界分割と列強の対立 ・アジア諸国の改革と民族運動 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた列強の進出やアジアの民族運動、第一次世界大戦の原因や大戦後の体制などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた列強の進出やアジアの民族運動の具体的な様相、第一次世界大戦の原因や大戦後の体制の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第一次世界大戦の原因や展開、大戦後の体制などに関する諸資料を収集し、有用な情報を取捨選択し、図表などにまとめたりしている。 d:19 世紀末から 20 世紀初頭という時代の基本的な事柄や、第一次世界大戦の原因や展開を、大戦後の体制の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
	第一次世界大戦後の欧米とアジア・アフリカの民族運動	・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・アジアの民族運動 （インド・西アジア・東南アジア・中国・朝鮮） ・アフリカの民族運動	○ ○	○	○	○ ○	a:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動の原因や影響などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動の原因や影響などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動などに関する諸資料を収集し、有用な情報を取捨選択し、図表などにまとめたりしている。 d:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動の原因や影響を、世界の各地域などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	

3学期	第二次世界大戦／平和と冷戦／現代社会と日本	・世界恐慌とファシズムの台頭 ・第二次世界大戦 ・冷戦の始まりと多様化する世界 ・冷戦の終焉と現代の世界	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 プリント
	持続可能な社会への展望	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・資料収集 ・研究発表 ・プレゼンテーション	○	○	○	○	a:現代の諸課題を、身近なもの、地球環境、地域紛争、情報社会から考えてみる。 b:現代の諸課題を、歴史的観点から考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート プリント 研究発表の内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。